

タイトル：第2回木工教室

御坊市少年少女発明クラブは6月9日、日高町の中紀地域職業訓練センターで第2回木工教室を開き、市内小学4、5、6年生33人が参加した。

前回の続きで、4年生はミニいす、5年生は道具箱、6年生はミニウインザーチェアを製作。職業訓練法人中紀技能訓練協会理事長の小瀬晴雄さんが中心となって指導に当たった。

4年生は完成品の見本のいすとテキストの図面を見くらべながら作業工程の説明を受けた。まずはかなで木材の角をとる作業を行い、つぎに釘を打つ場所にきりで穴をあける作業を行った。前回に習ったかなやきりの使い方を思い出しながら作業を進め、2回目ということで教室の雰囲気に少し慣れてきて楽しそうな様子であった。



5年生は、工具箱の蓋の鍵になる部分の製作を行った。蓋の一部分がかんぬきのようにスライドするような仕組みを理解しつつ、実際に動かせるように仮組みした工具箱の鍵穴の部分を各々で考えながら調整していた。鍵穴の位置が決まればボール盤で穴をあけ、箱を本組するために電動ドライバーでネジを止めていった。



6年生は前回に続いてイスの形を整えるために木材の削りだしを行った。その後は脚の部分になる棒の部材をイスが傾かないように調整する作業を行った。斜めに伸びた脚を地面と平行になるように調整するのは難しく、真剣な表情で作業に取り組んだ。



次回は7月14日、同センターにて第3回木工教室を行い、作品を完成させる。

(平成30年6月11日 御坊市少年少女発明クラブ事務局)